

令和3年第3回北海道議会定例会 代表質問

開催年月日 令和3年(2021年)9月21日(火)

質問者 公明党 安藤 邦夫 議員

答弁者 知事 鈴木 直道

○安藤邦夫議員

大人の代わりに家族の世話をしているヤングケアラーについて、道が、先に実態調査を実施され、その結果、道内の公立中高生では、現在、世話をしている家族が「いる」と回答したのは全体で中学生が3.9%、高校生では3%、定時制高校生では4.5%と明らかになりました。

道では、今後、こうしたヤングケアラーに対する支援の必要性を理解していただくための条例制定などについても、有識者会議において検討されるものと承知しておりますが、道として、今回の実態調査を踏まえ、今後、どのような取組をされようとしているのか、知事並びに教育長に伺います。

○鈴木直道知事

ヤングケアラーへの支援についてであります。先般、道が実施した実態調査では、家族の世話をしている子どもの多くに自覚がないことや誰にも相談した経験がないことなどが明らかになるとともに、周囲の生徒や学校側にもヤングケアラーへの理解不足がうかがわれることから、道民全体の認知度を向上させ、こうした子どもが抱える悩みに寄り添った支援を講じていくことが必要であります。

また、国においても、来年度から3年間をヤングケアラー支援の集中取組期間に設定し、認知度の向上や地域の相談機能を担う人材の資質向上など、様々な対策が重点的に進められると承知しております。

道としては、こうした動きも踏まえながら、ヤングケアラーの早期発見や適切な支援につなげるための実効性ある施策を早急に検討するほか、今後、ケアラー支援のための条例についても、年度内の制定に向けて作業を進めるとともに、制定に向けたプロセスや有識者会議などのご議論を道民の皆様と共有するなど、より一層、理解を深めていただけるよう手立てを講じながら、ケアラーやそのご家族を社会全体で支え、誰もが希望をもって生活を送ることができるよう取り組んでまいります。